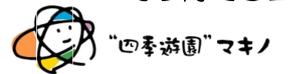


並木便り

高島市
マキノ

2019/2

マキノの
メタセコイア並木を
守り育てる会



Vol.7

現在の会員状況
2019.1.1現在

会員数 82名
(団体会員含む)

三日月県知事来訪！「保全活動」に熱いエール

一月十五日(火)、三日月滋賀県知事が並木道を見に来られました。昨年の紅葉人気ランキング(ウォーカープラス調べ)でもメタセコイア並木がトップに輝いたことなどを受け、先進的な取り組みや特色ある団体などを知事が訪問し関係者と対話をする「こんにちは！三日月です」の第五十六回目の訪問先として「マキノ」のメタセコイア並木を守り育てる会が選ばれ、並木道の維持保全活動について意見交換されるべくお越しになりました。



当日午後三時過ぎから始まった対話の中では、ボランティア清掃を続けていく中での今後の課題や観光客の増加、特に紅葉時期の交通渋滞が周辺集落の方へ迷惑をおかけしている話、地元ではメタセコイア並木や海津大崎の桜など多くの自然景観が観光集客に寄与している話など、さまざまなお話がありました。



また、並木道周辺を取り巻くインフラの整備について、参加者それぞれの立場から要望される場面もありました。並木の維持保全活動に関するものに限らず、懸案となっている百瀬川隧道トンネルの撤去や並木道遊歩道未設置区間の整備など観光地マキノとして、お越し頂く観光客の満足度向上に合うものについては、前向きに検討頂きたいものです。

今回の受賞者は...

五回目の開催となったフォトコンテストですが、応募作品が十六点と常連の応募者が大半となりました。応募者のすそ野が広がるよう考えながら、継続して開催してまいります。



入選 「深雪晴」
(高島市在住 駒井隆広 様)

特選 (紀の川市在住 田中嘉宏様)



佳作 「駆け抜ける新緑並木」
(彦根市在住 平尚治 様)

受賞者の皆様おめでとうございました。



佳作 「聖なる朝日」
(八尾市在住 西村孝 様)



佳作 「冬の訪れ」
(高島市在住 駒井隆広 様)

次の清掃は3月下旬です

年間3回実施しておりますボランティア清掃ですが、今年の1回目は3月下旬に予定しております。日程詳細につきましては、防災行政無線等で改めてご案内いたします。皆様方多数のご参加をお待ちしております。

会員募集中!!

マキノが大好きな人、自然が大好きな人、どなたでも結構です。みんなと一緒にメタセコイアの管理作業をしてみませんか？きっと、新しい何かに出会えるはず。まずは『マキノのメタセコイア並木を守り育てる会』まで

公式 HP : メタセコイア.com

Tel 0740-27-1811 Fax 0740-27-0590 (マキピックランド内)

またもや倒木被害!

今後の対策が急務



昨年九月四日に通過した台風二十一号により、またもやメタセコイアの倒木被害が発生いたしました。

「昨年の台風では、西風に煽られ東に向けて倒れましたが、今回は東風に煽られ三本が西に向けて倒れました。これで、この二年の間に合計十本の倒木があった事になります。また、倒木は免れたものの先端が折れ、芯が飛んでいる木も数本見受けられる事から、台風による被害で並木道全体の景観が損なわれる事態になりつつあります。対策として、倒木跡地に

補植をすることも考えられますが、樹齢三十五年を超えた大木の間には苗木を植栽し果たして十分な生育が見込めるのか?しっかりとした根を張ることが出来ないのではないかと?といった不安もあります。

県道沿い約五百本の木の全てがきれいな樹形であり続けることは難しいですが、市内の観光資源としてシンボリックな存在になっている並木道なので、なんとか良い対策を考えていきたいものです。

平成二十年度 通常総会開催報告



昨年七月二十三日の月曜日、奥琵琶湖マキノグラントパークホテルにて平成三十年度の通常総会が開催されました。高島市役所からは、マキノ支所

長並びに農林水産部次長にご臨席賜りました。議事の中では、台風による倒木被害への対応をはじめ、紅葉シーズンの交通渋滞や下垂枝剪定などの交通障害対策、電線地中化などの景観向上対策などが審議され、いずれの議案についても承認されました。総会後懇親会では、道路標識と景観との関係や、より一層の集客と交通渋滞対策との関係など、折り合いをつけるのが大変難しいお話も出ていました。

清掃活動の1報告

1年間の参加者数は過去最高

年三回実施している恒例のボランティア清掃ですが、昨年三月の活動には七十二名、九月の活動には五十五名、十二月の活動には七十七名の参加がありました。

昨年一年間での活動参加者が延べ二百四名となり、平成二十二年に一回目のボランティア清掃活動を実施して以降、年間の延べ参加者数が初めて

二百名を超えました。人口減少等により、各地でボランティア団体の運営難が叫ばれている中、僅かではあるものの参加者数が増えてきている事は大変嬉しいことです。

ただ、年末や年度末、農繁期での実施と、ボランティアの方にとって忙しい時期での清掃活動なので、重機を多用する等今後も継続して実施でき



る体制作りが必要です。



<今後の活動予定>

- 2月上旬～ 並木フォトコンテスト
- 3月下旬 清掃作業 (側溝清掃・枝拾い)
- 6月下旬 通常総会

最近、市内でも活用例が増えてきているクラウドファンディング。皆さんご存知の「OBC高島」の応援の為に益踊りの運営の為、はたまた空き家の改修資金を募る為などに活用されています。日本語で説明すると、「不特定多数の人がインターネット経由で他の人や組織に財源の提供や協力などを行う事」となり、語源は、群衆(クラウド)と資金調達(ファンディング)を組み合わせた造語だそうです。これを、資金を募る側から見れば、クラウドレイジン(民間非営利団体が、活動のための資金を個人や法人などから集める行為の総称)の一つにクラウドファンディングという手法がある、といった形になります。紙面でも懸案になっているメタセコイアの補植。このような形もありかも。

今号のお店

丸八百貨店



朽木市場にある丸八百貨店。平成9年に国の登録有形文化財に指定されています。現在までに一部改修されているようですが、なんでも昭和8年建築との事。当時としてはかなり「モダン」! 観光協会ですら予約をすれば鯖寿司づくり体験もできます。近くの道の駅と合わせ、是非立ち寄りしたい場所です。

高島百選探訪

生杉のブナ原生林(朽木)

朽木にある生杉のブナ原生林は「日本の紅葉百選」に選ばれています。朽木には、他にも「小入谷の雲海」や興聖寺の「旧秀隣寺庭園」など、メタセコイア並木同様に秋の紅葉スポットがたくさんあります。紅葉に限らず、豊かな自然景観は大切に守っていただきたいものです。

